

# 日本体育大(東京)

## 第36回 全日本大学男子選手権大会



### 2連覇!

平成13年8月9日(木)～11日(土)  
茨城県下妻市/砂沼広域公園  
スポーツゾーン野球場他

標記大会は、茨城県の南西部に位置

する「花が咲く 笑顔が咲くまち」し  
もつま」下妻市で全国各地の予選を  
勝ち抜いた精鋭32チームが一堂に会し、  
3日間の日程で熱戦を繰り広げた。

本大会は平成14年に行われる全国高  
校総体のリハーサル大会を兼ねている  
こともあって、会場施設や開・閉会式  
にも工夫が凝らされていた。

大会期間中は、天候にも恵まれ、最  
終日の朝方に豪雨に見舞われたが競技  
進行に支障はなく、予定通り全日程を  
終了することができた。

結果は、昨年の覇者・日本体育大が  
他を寄せつけず余裕の2連覇達成。通  
算24度目の栄冠を手中にした。

準優勝の国士館大(東京)は32年ぶ  
り2度目の優勝をめざしたが、あと一  
歩およばず涙を飲んだ。3位の九州産  
業大(福岡)、神戸学院大(兵庫)は、  
準々決勝まで順調に勝ち進んだが準決  
勝で共に完敗。決勝進出は成らなかつ  
た。

印象に残った選手は、投手では日本  
体育大の川口大投手。防御率0・26、  
奪三振40の力投で5勝を挙げ、優勝の  
立役者となった。

日ソ協記録委員

矢島 敏克



優勝の原動力となった日体・川口投手

打撃部門では、広島経済大・花本英  
隆選手が打率6割で打撃ベストテン1  
位。日本体育大・花田和也選手が5割  
6分3厘。九州産業大・松本大樹選手  
が5割のハイアベレージを記録する活  
躍を見せた。

また、決勝まで勝ち進んだ日本体育  
大・杉田剛選手は本塁打2・打点7。  
国士館大の中屋昌樹選手は本塁打2・  
打点6でチャンスに強く、優勝・準優  
勝の原動力となっていた。

### ○準決勝

九州産業大	0	0	1	0	0	0	0	0	0
日本体育大	1	2	0	2	1	0	X		
	6								1

(九) ●村井・馬場―高橋  
(目) ○川口・山尾―杉田

▽困江角(九) 杉田(目) 田津本(目)

田津本、川口、野須②(目)

(審) P 徳永 1 坏 2 田所 3 鈴木

(記) 倉川

日体は初回、先頭の津本が四球で出塁。犠打で確実に送り、3番・川口の左翼線二塁打で先制。2回にも、長短3本の安打で2点を追加して優位に立った。

一方、九産は3回、この回先頭の7番・江角が中越本塁打を放ち、1点を



九州産業大は王者・日体に完敗……

返したのが唯一の得点。日体・川口、山尾の継投にわずか3安打、12三振を喫して敗れ去った。

### ○準決勝

神戸学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国士館大	0	0	1	1	0	3	X		
	5								0

(神) ●四方・丸野―吉田

(国) ○武智―萩原

▽困鈴木、川畑、本郷(国)

田津本(国)

(審) P 海老澤 1 阿久津 2 小室 3 大橋

(記) 五来

国士館は3回、一死後、1番・鈴木の右越本塁打で先制。4回には7番・中屋のタイムリーで1点を追加。さらに6回には4番・川畑、代打・本郷の2本の本塁打などで3点を挙げ、神戸学院の息の根を止めた。

守っては先発・武智が好投。神戸学院に付け入るスキを与えず、散発3安打8奪三振と二塁も踏ませぬ投球で完封した。

### ◎決勝



力投を続けた国士館・照井。決勝で力尽きる

日本体育大	0	0	0	1	0	0	0	0	0
国士館大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0								1

(目) ○川口―杉田

(国) ●照井―萩原

(審) P 助川 1 横堀 2 桑名 3 千葉

(記) 三浦

日体・川口、国士館・照井両投手の投げ合いで3回まで両チーム無得点。緊迫した投手戦で試合は中盤4回を迎えた。

日体は一死から4番・杉田、5番・勝呂、6番・野須の3連打で1点を先制。この「虎の子」の1点をエース・川口の力投で死守し、連覇を達成。通算24度目の栄冠を手にした。

敗れた国士館・照井は、日体・川口に劣らぬ投球内容で投げ抜いたが、味方打線の援護がなく、32年ぶりの優勝は成らなかった。

### 第36回 全日本大学男子選手権大会

1	日本体育大(東京)	11	9
2	中京大(愛知)	3	7
3	東京農業大(東京)	0	2
4	京都産業大(京都)	13	6
5	関東学院大(群馬)	3	2
6	広島修道大(広島)	5	2
7	筑波大(茨城)	3	2
8	広島経済大(広島)	10	11
9	富山大学(富山)	0	1
10	香川大(香川)	21	21
11	東北大学(宮城)	3	5
12	九州産業大(福岡)	4	1
13	城西大(埼玉)	7	5
14	龍谷大(京都)	4	3
15	仙台大(宮城)	5	3
16	沖縄国際大(沖縄)	2	6
17	国士館大(東京)	7	5
18	岐阜聖徳学園大(岐阜)	2	5
19	早稲田大(東京)	2	2
20	大阪経済法科大(大阪)	7	5
21	学習院大(東京)	1	4
22	鹿児島国際大(鹿児島)	4	1
23	茨城大(茨城)	1	5
24	福岡大(福岡)	24	0
25	愛知大(愛知)	1	0
26	熊本学園大(熊本)	2	0
27	国際武道大(千葉)	1	6
28	神戸学院大(兵庫)	5	2
29	中央大(東京)	4	3
30	立命館大(京都)	5	1
31	松山大(愛媛)	0	5
32	東海大(神奈川)	3	5

日本体育大

国士館打線、猛打で圧勝!

